



えんだより



2021年10月
吉野幼稚園

主 題：「自立する」

聖書のことば：「自分にしてほしいことは他の人にもそのようにしなさい」(マタイ7:12)

二学期が始まり、すぐにまだまだ暑い中での運動会の練習となりました。最初は、まだ慣れない様子の子どもも見受けられましたが、だんだんと本調子になってきたようでした。コロナ禍の中での本番となりますが、運動会が、晴天に恵まれますようお祈りしたいと思います。

さて今回は、「ひとりひとりの子どもはみんなちがう」というお話です。環境の中から、子どもが自分の興味によって、自分の感覚や筋肉を使って、発達に必要な養分を吸収していくわけですが、子どもによって、興味の持ち方、発達の仕方、特徴など十人十色です。みんなちがっているのが子どもの本当の姿なのです。

このちがいは決して「よい」「わるい」などと決められるものではありません。ほかの子に比べて、焦ったり不安を感じたりすることはありません。その子なりの発達の姿を大切にしましょう

このちがいを大切に、育てていってこそ、本物の個性が育つといえるでしょう。ここが、一斉画一的な教育とは大きく違うところです。

めいめいの子どもが、身の回りにあるものを使って、自分が興味を持ったことを選び、そのことに集中することによって、自発的に発達に必要な養分を吸収します。このことは子供が自分自身で自分自身を教育しているといえるでしょう。そして、興味の続くかぎり「おしごと」を続けたり「おしごと」を発展させたりします。大人の指示でやらされている「おしごと」とは、大きく違ってきます。

豊かな環境とのかかわりの中で、子どもは自力で自分を作っていきます。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

10月のねらい

- Aグループ・秋の自然物に触れ、遊びに取り入れたりして楽しみ、季節の移り変わりに関心をもつ。
- Bグループ・秋の自然に触れ、いろいろな自然に興味を持ち関わる。
- CDグループ・戸外で遊び、体を動かしながら、秋の自然に楽しむ。